

2020年真のお父様御生誕100年記念にお贈りする

# 『二世アメリカンセミナーのご案内』

The 2<sup>nd</sup> Generations be ambitious!

◆日程は2コース

## ◇ご案内

今年、アメリカで行われる英語研修と巡礼旅行の会に関心をお持ちの方々に、ロードアイランド州にあるプロビデンス教会を代表してこの企画をご紹介します。プロビデンスとは『摂理』という意味です。

二世アメリカ研修会を始めて今年で6年目になります。今まで多くのご父兄と関係者の方々のご好意で、研修生達はアメリカで英会話の勉強をし、御父母様の足跡を知ることができました。お父様が、「誰かがお父様の使命を悟って、若い時に世界を見せてくれたら摂理は変わっていただろう」と仰られたことがあります。世界の中心であるアメリカを見る事によって、みなさんの人生にも大きな影響が与えられるのではないのでしょうか。

壮大なアメリカは開拓者によって切り開かれました。この研修会がみなさん一人一人の人生を切り開く素晴らしい機会になることを切に願っております。

《第12回二世アメリカンセミナー》

✦8月コース

《31日間：7/29～8/28》

(定員12名)

中学生・高校生・大学生の皆様向け

《第13回二世アメリカンセミナー》

✦9月コース

《30日間：9/2～10/1》

(定員12名)

大学生・青年の皆様向け

<研修費総額目安>

40万程度

(航空券・研修費)

※上記に含まれない費用

\*国内交通費 \*お小遣

\*他準備に関わる費用

※レートにより費用は変動

プロビデンス教会

FFWPU Rhode Island  
Family Church

136 Carr Street Providence,  
Rhode Island 02905

澤田 亮一郎

Webサイト

<https://2nd-gen-american-seminar.com/flyer/>

<問い合わせ先>

澤田 亮一郎 メール：[lucasawada@gmail.com](mailto:lucasawada@gmail.com)

# セミナー予定表



## 講師とスタッフ紹介

### ■講師

奈田直宏会長 神明忠昭総長  
 左藤トシ子先生 猪瀬洋個団会長  
 由紀子Fairbrother先生 尾崎吉美先生

### ■スタッフ

マーク・ビュドーイン教会長  
 澤田亮一郎

スケジュール		スケジュール	
1日目	日本発	16日目	ニューヨーク見学
2日目	プロビデンス観光	17日目	お父様のボートでニューヨーク遊覧・魚釣り
3日目	澤田講話	18日目	ニュージャージ教会聖日礼拝参加
4日目	ブラウン大学見学	19日目	ハーシーズチョコレート工場見学 ゲティスバーグ南北戦争古戦場見学
5日目	プロビデンス教会聖日礼拝	20日目	ワシントンタイムズ新聞社見学 ワシントン美術館 博物館見学
6日目	ジョン万次郎記念館・ジョンケネディ大統領記念館	21日目	ワシントン市内見学 キエパレアカデミー見学
7日目	プリマスグラウスターのモーニングガーデン訪問	22日目	西バージニア州のカントリーロードを通過
8日目	人参工場見学 山登り	23日目	ペンシルバニア州へ ミュージカル鑑賞
9日目	奈田会長講話	24日目	プロビデンス教会に帰る
10日目	ペリー黒船艦長の活躍したニューポート見学	25日目	プロビデンス教会聖日礼拝
11日目	礼拝・ハチ公像見学	26日目	ペリータウン統一神学校見学
12日目	ブリッジポート大学見学	27日目	カトリック教会訪問 カナダ国境近くまで行く
13日目	ペリータウン教会で神明総長講話	28日目	ナイアガラの滝
14日目	ベルベディア・イーストガーデン見学	29日目	バッファロー空港から日本に向けて出発
15日目	アメリカ家庭連合本部訪問	30日目	日本到着

# 企画者からのメッセージ

皆様こんにちは。

昨今の韓国、日本、アメリカの関係を観ておられますと随分冷え切ってきていますので、将来の3国間の関係を心配する良識者が多くおられるのではないかと思います。私も3国間関係を心配する一人ですが、それほど悲観している訳ではありません。理由はお父様が1974年にニューヨークで行われたマディソン大会大勝利の祝賀会で語られたみ言を信じているからです。

『マディソン大会までは重要な三つの国、韓国、日本、アメリカは霊的にのみ結ばれておりました。しかし過去一週間の間到我々の運動によって、三国は実体的にも結ばれる様になったのであります。

先生が言うには、如何に韓国、日本、アメリカがこれから政治的に国と国とが、又、国民と国民とが離させられたり、憎しみ合ったり対立しても、この国は決して離れ離れになったままにはならないだろうと言うことです。なぜなら、統一教会の食口たちが、がっちりとその手綱を握っているからであります。』

1974年9月19日のみ言より

お父様はこの3カ国がどの様な事があっても離れ離れにならないのは私達食口ががっちりと手綱を握っているからだと仰られています。現状はどうでしょうか。韓国と日本との食口間の交流は行われており、アメリカからはCARPの青年が毎年何百人と日本と韓国へ行って親睦を深めています。韓国や日本からアメリカに向けての交流はほとんどありません。

私は3国間の亀裂は家庭連合が食い止める事が出来ると信じています。それには韓国、日本そしてアメリカ家庭連合の相互理解が今まで以上に必要です。その相互理解に二世アメリカ研修会が少しでも貢献できればと願っております。

この研修会は遠距離を旅行する壮大な研修会ですが、観光旅行ではありません。二世研修生が英語習得とご父母様がアメリカで1971年12月から2012年6月まで40年間宇宙復帰のために世界的次元で歩まれた歩みをより深く知る巡礼旅行です。

ご父兄の皆様も、お父様のみ言の大半の背景であるアメリカを知らなければ、み言を十分に把握できないと思われるのではないのでしょうか。ましてや二世は、です。

アメリカ家庭連合では毎年クリスマス時に、その年摂理に一番貢献した家庭に Outstanding Family Award という賞を授与していますが、一昨年 2018 年の授賞式では、「二世アメリカ研修会」を企画運営したロードアイランド教会のマーク教会長と私の家庭がアメリカ家庭賞を受賞させて頂きました。

受賞理由は、誰に言われたからやっているのではなく、自らが決意し責任を持ってやり続け、アメリカと日本両国の二世が相互理解を深め、二世の心霊復興に貢献した、と言うものです。この研修会は、日本とアメリカ両国の家庭連合承認の研修会ですが、経済援助は両国本部から一切受けておりません。

ご父母様のご心情をより深く知り、将来国際舞台で活躍したいと願う二世や国際祝福を希望する二世には、世界の窓口であり、ご父母様が 40 年間世界復帰のために歩まれたアメリカを知る最高の機会である研修会に参加されることをお勧めいたします。

皆様のお越しをスタッフ一同心よりお待ちしております。

澤田亮一郎

《恒例のクリスマスパーティで、金大陸会長よりアメリカ家庭賞を受賞するマーク教会長の家庭》

